



金子三智郎

みちろう

景気浮揚！雇用創出！

県議会報告

発行 金子三智郎

後援会事務所
組合本部宅
組自

〒850 0031
〒852 8021
〒850 0821

長崎市桜町9 6
長崎市城山町17 58
長崎市高平町5 5

TEL095 824 4087
FAX095 824 4679

9月議会特集号

2010 1 0

平成22年10月25日

第9号

質問事項

- ① インドとの原子力協力協定の締結について
 - (1) 核不拡散条約（NPT）未加入で核兵器保有国との原子力協力を行うことについての被爆地の知事としての考え
 - (2) 長崎市との連携強化と原子力協力協定交渉の中止要請について
- ② 長引く不況と景気対策としての住宅政策について
 - (1) 長引く不況と景気対策について
 - (2) 景気対策としての住宅政策について
 - ・新設住宅着工戸数と世帯数の関係
 - ・緊急経済支援事業としての住宅リフォーム補助制度の創設について
- ③ 観光長崎の再生について
 - (1) 孫文と梅屋庄吉 中国と長崎の新たな観光の展開について
 - (2) 長崎に在る中国の史跡等の見直しと再発信について
 - (3) 長崎観光と路面電車（超低床式）導入に伴う県費負担について
- ④ 介護保険の見直しと介護の現状把握について
 - (1) 急激な高齢化に向けての制度維持について
 - (2) 介護総費用の倍増化への対応策
 - (3) 介護スタッフの人員費の増額の状況と伸び率について
 - (4) 介護スタッフの処遇改善による人手不足の改善状況と、人手不足の解消時期



9月定例県議会特集

9月13日▷10月5日

9/21
(火)

金子県議一般質問で熱く訴える！

秋田県の実例をまじえ住宅リフォーム補助制度の創設について 他

若宮稲荷神社の「竹ん芸」



1 質問事項

インドとの原子力協力協定の締結について

9月長崎県議会定例会が同月13日～10月5日迄の会期で開催され、長崎県議会議員に就任して、第5回目で一期目最後の一般質問に9月21日に登壇しました。その中で、下記4項目にわたって質問を行いました。その質問要旨と県知事、副知事、部長からの答弁要旨を掲載し、議会報告と致します。

(1)核不拡散条約(NPT)未加入で核兵器保有国との原子力協力をを行うことについての被爆地の知事としての考え

質問要旨

【金子県議】今年の広島平和祈念式典に、はじめてアメリカの代表としてルース駐日大使が出席しました。

答弁

オバマ大統領のプラハ演説以降、核軍縮の機運が世界的に高まり、今年の式典には国連のパン・ギムン事務総長もはじめて参加しました。国連トップとして、軍縮・不拡散を主張する決意を国際社会に對してアピールしました。世界の核に対する動向が大きく変化する中に、日本政府がインドとの原子力協力協定の締結の交渉を行っていることに、被爆地の県知事としてのお考えをお伺いしたい。

【知事】被爆地の知事として、今回の交渉において、核不拡散条約に未加入であり、核兵器保有国であるインドとの原子力協定が、核不拡散体制を形骸化させないという明確な説明がないままに締結されることは容認できないと考えております。このため、交渉に当たっては、核実験モラトリアムの継続等を含め、約束と行動をインドが着実に実行していることを確認し、核兵器のない世界の実現に向けてリーダーシップを発揮し、インドに対して核不拡散体制を維持、前進させる確かな措置を講じるよう強く求めていくことを政府に対して要請した。



(2)長崎市との連携強化と原子力協力協定交渉の中止要請について

質問要旨

【金子県議】原子力協力協定が明らかになって以来、長崎や広島に被爆者をはじめ、長崎県、長崎市、反核市民団体などが相次いで懸念を表明し、政府に要請している。また、8月9日の長崎平和宣言では、「到底容認できません」と強い口調で反対しました長崎市と連携を強化し、原子力協定の交渉の中止を強く求めていくべきではないかと考えますが、ご所見をお伺いしたい。

答弁

【知事】政府においては、①インドが原子力供給国グループ

2 質問事項

長引く不況と景気対策としての住宅政策について

が例外措置を決定した際の前提条件を着実に行動に移していること、②NPT体制の枠の外にいるよりは国際的な核兵器不拡散体制に取り込む契機になること、③地球温暖化対策、④インドとの2国間関係、⑤我が国のエネルギー産業政策などを考え、交渉を開始する」という趣旨の説明をしております。県としては、政府がリーダーシップを発揮し、インドに対して核不拡散体制を維持、前進させる確かな措置を講じよう強く求めることを要請した。

(1)長引く不況と景気対策について

質問要旨

【金子県議】国の経済政策も、景気浮揚策になかなか結びつかず、日本経済は、円高ドル安、株価の値下がりなど難しい不況の渦から抜け出せません。急激な円高は、国内の輸産産業を直撃し、為替レートが83円に止まれば、すべての生産基地を国外に移転しなければ企業経営が成り立たないと言われます。このような中で、県民生活を守り、生活力向上の観点から、長崎県政のかじをとられる知事のご所見をまずお伺いしたい。

答弁

【知事】本県の景気については、今年2月に発表された「県内金融経済概況」において、着実に持ち直しているとされており、有効求人倍率は依然として0.48倍と低い状態に推移しています。景気の停滞が長引く中で、地域の経済雇用情勢は大変厳しい状況にあると実感をしています。6月補正予算において、緊急雇用対策、あるいは県民の安心安心に必要な県単建設事業の追加、中小企業の資金繰り支援の前倒しなどを図るとともに、産業の振興を県政の最優先課題に掲げ、まずはこれらの施策の着実な実施に向け、全力で取り組んでいきたい。



(2)景気対策としての住宅政策について
 ・新設住宅着工戸数と世帯数の関係
 ・緊急経済支援事業としての住宅リフォーム補助制度の創設について

質問要旨

【金子県議】

新設住宅着工戸数と世帯数の関係について

長崎県の人口は、約142万人、1世帯当たりの人数が



2・5人、56万世帯が県内に住んでおります。現在の新築の現状は、この10年間で新設住宅着工戸数の合計が8万5000戸、単純に住宅の耐用年数が50年とすれば、この数字の5倍で約42万6000戸となります。現在の世帯数と比べると約14万戸が不足となり、県の人口減少を差し引いても約30年で住宅難民がでます。住宅数を増加させる手段が求められます。

緊急経済支援事業としての住宅リフォーム補助制度の創設について

住宅の耐用年数を、住みやすさを確保しながら住宅数を一定水準に保つためには、住

宅リフォームが必要です。家の寿命は、家の点検と手入れで大きく異なります。住宅の使い勝手が悪い部分を少しでも改善し、安全で安心して暮らしやすい、長持ちさせたいとの思いはだれにもあります。住宅改修改修に踏み切れないのは、将来の収入への不安が先立つためです。きっかけがあれば、自分の家の改修を行ってみたいと考える人がたくさんおられます。

今年、秋田県では住宅の増改築リフォームにより、住環境の質の向上の緊急支援事業として、工事費の10%、最高で20万円の補助を行う制度を立ち上げました。この制度は非常に評判がよく、既に今年3月から実施され、7月30日現在で、わずか4カ月半程度で申請受け付け戸数が7769戸と非常に高い申請率となりました。8月の県の臨時議会で追加予算を計上するなど、予定戸数の上乗せが図られました。ちなみに、8月末の数字は8901戸とまた大きく伸びており、このことは、県民のニーズに合った施策とされた結果であり、これまで隠れていた需要を一気に噴出させ、大きな経済起爆剤として県内経済の活性化に大きく寄与している実績であると考

えます。

経済波及効果は、建設業の場合1・67倍を超え、と言われる、リフォームの場合、資材購入も地場産業へ還元されるため、実態としてその倍率を大きく超える波及効果があります。当然、県産材の消費拡大にも大きく寄与します。現在の不況打開の切り札として、県民の住宅ニーズに応え、仕事不足で苦しむ建設業従事者救済のため、住宅リフォーム補助制度の創設を行うべきだと考えますが、前向きなご所見をお聞きしたい。

答弁

【知事】秋田県で、特定の目的に限定せずリフォームに対して県の補助制度が設けられているのは私も知っております。本県も、これまでも助成制度等を講じてきました。

ただ、目的を限定せず、経済対策と言いつつ必ずすべての住宅のリフォーム等に支援をするのは難しいと考えています。住宅リフォームについて十分に検討したい。

住宅を新築する場合とリフォームをする場合、その費用対効果を考えて場合に、ご指摘のように補助率が10分の1ということ、その民間投資額は常に10倍以上というこ

とであり、そしてまた、その波及効果は1・67倍期待できるといふことでありますので、県の予算額に対して実質的な地元経済に及ぼす影響というのは非常に大きなものがあるのではなからうかと考えております。検討をするようにとい

3

質問事項

観光長崎の再生について

(1)孫文と梅屋庄吉、中国と長崎の新たな観光の展開について

質問要旨

【金子県議】

長崎出身の梅屋庄吉は、孫文と「君は兵を挙げ、我は財をもつて支援す」との盟約を結び、現在の貨幣価値で1兆円を超える革命資金を提供した。孫文は革命後、亡命を余儀なくされ、梅屋庄吉を頼って1913年に来日しています。中国では抜けた

知名度を誇る孫文の全面的な支援者が長崎に存在していたということ、中国本土全体に知ってもらう最高の舞台が今そろうております。長崎の梅屋庄吉を、まず、地元長崎の人たちに浸透させ、観光に活かすため、早急な現地の整備が求められます。具体的な方策についてご所見をお伺いしたい。

答弁

【副知事】梅屋庄吉を紹介したパンフレットの作成や講演会

の開催など、貴重な資料を展示する大規模な展覧会を長崎歴史文化博物館において開催したいと考えております。

さらに、孫文と梅屋庄吉にかかる資料の常設展示も含め、総合的な顕彰方法を長崎市や吉崎市とも相談しながら検討し、県民の皆様をはじめ、国内外の皆様を知っていただくように取り組みます。



ています。せっかくの長崎再発見と言える孫文と梅屋庄吉を新しい観光資源とするためには、今こそ中国色に彩られた長崎の見直しと再発信を行うべきと考えます。

答弁

【副知事】往時の長崎は、出島でのオランダとの交流と同時に、中国との交流の窓口を果たしたこの歴史的特性を、観光に活かしていくことは重要と考えております。

(2)長崎に在る中国の史跡等の見直しと再発信について

質問要旨

【金子県議】長崎のまちほど中国色に彩られたまちはありません。お寺一つとっても崇福寺、興福寺、聖福寺、福濟寺の長崎4福寺、孔子廟、唐人屋敷跡、新地、中国人墓地など数え上げれば切りがありません。さらに本場中国でほとんど衰退してしまっている、媽祖さまの信仰がこの日本で唯一、昔のまま長崎に残され

考えます。路面電車に対する県当局のお考えをお伺いしたい。

答弁

【副知事】観光長崎の再生において路面電車が果たす役割は大きなものがあるということも事実であります。

都市計画に掲げる路面電車の延伸などの実現に向けた、どのような支援が必要となる



のか、県市一体で十分検討したい。

4 質問事項

介護保険の見直しと介護の現状把握について

- (1) 急激な高齢化に向けての制度維持について
- (2) 介護総費用の倍増化への対応策
- (3) 介護スタッフの人員費の増額の状況と伸び率について
- (4) 介護スタッフの処遇改善による人手不足の改善状況と、人手不足の解消時期

答弁

【福祉保健部長】

急激な高齢化に向けての制度の維持方策並びに介護費用の倍増化対応策について

質問要旨

【金子県議】長崎県内の介護事業所において、介護スタッフの処遇改善が行われたが、現

見が集約されます。介護職員の人員費の増額状況と伸び率について

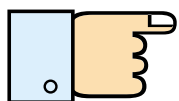
介護職員の賃金改善を図るため、県は、国の交付金を活用し平成21年10月から介護職員処遇改善助成事業を実施しております。

最後に、処遇改善による人手不足の改善状況と解消の時期について

長崎県の介護職員の過不足状況は、回答した事業所のうち「適当」が前年度54・7%から61・1%に増加し、「大いに不足」、「不足」、「やや不足」の不足感は44・3%から38・2%に減少、また離職率も下がっていることから過不足状況は少し改善されているが、依然人手不足の状況である。

人手不足の解消の時期について申し上げることはできませんが、離職の理由として、法人、施設の理念のあり方への不満、給与が低い、昇進等将来への見通しが無い等が挙げられ、その解消に向け国の事業を積極的に活用し、事業者に対する啓発を行うなど、介護従事者の安定的な確保のための取り組みを実施してまいります。

金子県議の活動報告を建設長崎ホームページをご覧ください。



ココをクリックしてください



http://www.kensetunagasaki.org/

建設長崎でも検索できます。



県議会傍聴後、県庁玄関にて